

2018 年度卒論ポスター発表会を開催

【概要】

卒論ポスター発表会は、北海道大学総合博物館独自の教育プログラム「ミュージアムマイスター認定コース」の一環として毎年開催しています。文系・理系の枠を超えて集まった北海道大学の学部4年生が卒業研究を1枚のポスターにまとめ、会場を訪れた方々にわかりやすく発表します。今回参加する発表者9名は、それぞれのポスター横に立って随時説明します。

開催中に訪れた方々には審査投票をしていただき、最も投票数が多かった学生には来館者賞が授与されます。また、学内外から選定された審査員とミュージアムマイスターに認定された学生が「研究のクオリティ・オリジナリティ」、「ポスターのデザイン」、「コミュニケーション能力」の観点から評価し、最優秀賞とマイスター賞を決定します。

本発表会では発表はもちろんのこと、広報ポスター（別紙）やリーフレットの制作、司会進行などの運営も学生が主体となって進め、授業や普段の学生生活では味わうことのできない貴重な社会体験の場にもなっています。

会場に併設されているカフェを利用しながら、気軽に北大生の研究に触れることができる機会です。

【日 程】 2019年3月2日（土）・3日（日）10：00～16：00（タイムテーブルは別紙参照）

【場 所】 北海道大学総合博物館1階「知の交差点」エリア（札幌市北区北10条西8丁目）

JR札幌駅北口より徒歩15分、地下鉄南北線北12条駅より徒歩10分

※本学では、構内への車両乗り入れを規制しています。

バス・地下鉄などの公共交通機関のご利用をお願いします。

【主 催】 北海道大学総合博物館

【対 象】 市民、学生、教員など

【参 加 費】 入場無料

【申込方法】 申込不要



昨年度の様子

【発表者・ポスタータイトル】

1. 田邊美寿々（工学部 環境社会工学科）

「学部施設との関係からみた北海道大学札幌キャンパスにおけるオープンスペースの変遷と特徴」

2. 鈴木伶音（理学部 地球惑星科学科）

「^{きんせいせき}堇青石がひらく火山研究の新しい可能性」

3. 片岡奈々（農学部 生物資源科学科）

「世界で積丹，松前，下北にしかない絶滅危惧種オニトコヨモギの保全
—紛らわしい普通種との比較から—」

4. 福山 健（工学部 応用理工系学科）

「最新鋭の石炭発電で発生する塩化水素ガスの高効率な吸収剤の性能評価
～蜂の巣状の物質と安価な天然ソーダ灰を用いて～」

5. 遠藤 優（理学部 生物科学科）

「外来種ハクビシンの日本移入と分布拡大の解明」

6. 宮地広太郎（工学部 環境社会工学科）

「北海道大学札幌キャンパスにおける農場の土地利用と景観の変遷」

7. 小畑悠紀子（文学部 人文科学科）

「ことばと思考の世界：ことばが違うと，世界の見え方も違う？」

8. 田次将太（理学部 地球惑星科学科）

「南西北海道，狩場火山群の地質学・岩石学的研究：山体形成史とマグマ変遷の解明」

9. 渡辺美季子（工学部 環境社会工学科）

「建築設計競技^{ヨーロッパ}Europanのテーマ・敷地選定の特徴と変遷」

※ポスタータイトルは変更となる場合があります。

お問い合わせ先

北海道大学総合博物館（北海道大学理学・生命科学事務部事務課博物館担当）

T E L 011-706-2658 F A X 011-706-4029 メール museum-jimu@museum.hokudai.ac.jp

U R L <https://www.museum.hokudai.ac.jp/>

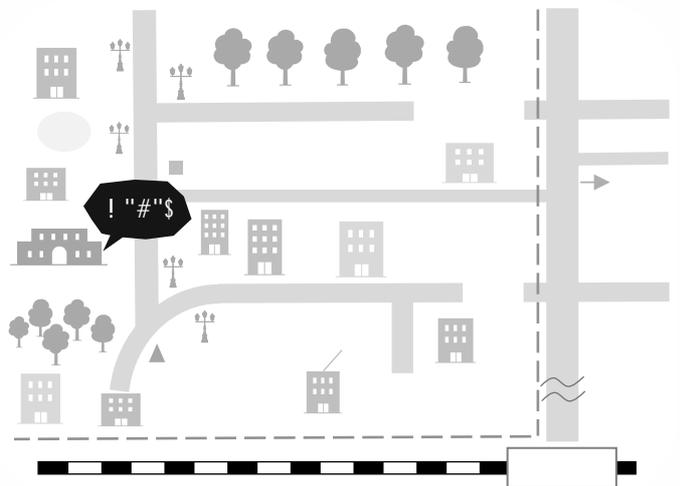
配信元

北海道大学総務企画部広報課（〒060-0808 札幌市北区北8条西5丁目）

T E L 011-706-2610 F A X 011-706-2092 メール kouhou@jimu.hokudai.ac.jp

3 2 ● ▶ 3

10:00 16:00



2018 年度卒論ポスター発表会 タイムテーブル

3月2日（土）



3月3日（日）

10:00

審査員・発表者紹介
10:00～10:15

11:00

12:00

ポスター発表
10:15～15:00

審査員審査
来館者投票
10:15～15:00

13:00

14:00

15:00

表彰式

15:30～16:00

16:00

ポスター発表
10:00～16:00

来館者投票
10:00～16:00

発表者がポスターの横に立って、来場された方々に随時説明します。

来場された方々が最もよいと感じたポスター発表に投票することができます。